1. 木質バイオマス関連情報

■宮城県石巻市須江地区に(株)G-Bio イニシアティブ(東京)が建設を計画している液体バイオマス発電所を巡り、地区の住民団体3団体が石巻市市長に事業計画の中止・撤回を求める要望書を提出(8月18日)。市長は事業の許可権限は市側にはないとした上で「住民理解が得られていないことは承知している」と述べるとともに、再生可能エネルギー事業の建設抑制区域などを設ける独自の条例制定を検討していることを明らかに。市長は県環境影響評価審査会が業者に通知する文書に付する市長意見で「住民合意前提で進めること」などを伝える意向【河北新報：2021/08/21】

<https://kahoku.news/articles/20210821khn000027.html>

■若者向けアパレルショップ等を全国展開する(株)ウィゴー(WEGO)(東京)が、みんな電力(株)(東京)と協業し、創業地である大阪の旗艦店「ウィゴー心齋橋店」の使用電力を再生可能エネルギーへ。使用するのは(株)BPS大東(大阪)が供給する木質バイオマス発電由来の電力。BPS大東は同じTJグループホールディングス(株)(大阪)グループ会社の一つ、(株)都市樹木再生センター(大阪)が地域で発生した木質廃棄物等を加工したチップを燃料とする、「BPS大東龍間発電所」を運営している。同発電所の発電規模は5,750kW。今回の導入に際し、ウィゴー心齋橋店では、顧客である若年層に向けて再生可能エネルギーの認知向上を目的としたポップアップイベントを7月24と25日に開催。またスタッフへの啓蒙活動として、心齋橋店のスタッフがBPS大東の発電所で再生可能エネルギーや木質バイオマス発電について学ぶ機会を設け、その内容を同社が発行する「WEGOマガジン」内でレポート【WWD:2021/08/21、みんな電力】

<https://www.wwdjapan.com/articles/1247448>

<https://portal.minden.co.jp/powerplant-info/MP000248>

■中国国家発展改革委員会、バイオマス発電事業に対する2021年の中央予算として25億元(約423億円)を拠出すると発表(8月19日)。新規プロジェクトの建設を後押しし、産

業の技術発展と発電コストの低減を促進。地域ごとに中央予算を割り当てる比率を調整する【NNA ASIA：2021/08/23】

<https://www.nna.jp/news/show/2227926>

■放置竹林などの竹を住宅建材製造やバイオマス発電に活用してきた熊本県南関町の民間ベンチャーグループ3社が経営不振に伴い、竹収集事業や発電事業を木質バイオマス発電事業や燃料製造事業等を展開する(株)モリショウ(大分)に譲渡することが明らかに(8月25日)。3社は農家から竹を買い取って加工する「バンブーフロンティア」(BF)、チップを固めて住宅建材を製造する「バンブーマテリアル」(BM)、枝や葉などを燃やして電力や熱をBM社に供給する発電事業の「バンブーエナジー」(BE)。南関町の敷地4万3,000㎡に工場など11棟を設け、2018年から順次稼働させたが、債務超過に陥り事業整理を進めていた。総投資額はNEDOの助成金約13億円を含め55億円。事業の譲渡は8月27日付で、譲渡額は非公表。3社の不振を招いた主力の建材製造事業は中止し、建材工場の設備を撤去してBM社社長の出身母体の丸光グループ(熊本)に物流倉庫として譲渡済み。発電所は敷地内の建材工場の電源だったが、今後はノウハウを生かし外部への売電を図る【熊本日日新聞：2021/08/26、2021/03/31】

<https://kumanichi.com/articles/369862>

<https://kumanichi.com/articles/171487>

■中堅化学の(株)トクヤマ(山口)、この秋より竹をバイオマス発電の燃料に使う実験開始へ。セメントなどを作る同社本店の徳山製造所(山口県周南市)の石炭ボイラに竹を混ぜ、自家発電をする実験を行う。石炭火力発電設備4基のうち、1基を25年度までにバイオマスの専焼プラントに転換する計画のもよう。竹林の管理に貢献するほか、気候変動対策などにも役立つ【Yahoo! Japan ファイナンス：2021/08/30、日本経済新聞：2021/09/05】

<https://finance.yahoo.co.jp/news/detail/20210830-10000025-dzh-stocks&ct=ga&>

<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUC240R50U1A620C200000/>

■中部電力(株)(愛知)と東京電力ホールディングス(株)(東京)が共同出資する(株)JERA(東京)が、木材チップを加工したバイオ航空燃料の商用化に向けた製造、供給網構築の実証開始へ。NEDO が公募した事業「バイオジェット燃料生産技術開発事業/実証を通じたサプライチェーンモデルの構築」に採択され、同社および三菱パワー(株)(神奈川)、東洋エンジニアリング(株)(千葉)、伊藤忠商事(株)(東京)の4社共同で実施する。木質系バイオマスを原料としたガス化 FT 合成による商業規模の持続可能な代替航空燃料(Sustainable Aviation Fuel、以下「SAF」)のサプライチェーン構築に向け、国内における将来の SAF 供給の一端を担う木質バイオマス由来の航空燃料を早期に市場に流通させるために必要な条件、施策、技術的課題の検討に取り組む。事業期間は2021年度から2024年度の約4年間【(株)JERA:2021/08/30、中日新聞:2021/08/31】
https://www.jera.co.jp/information/20210830_752
<https://www.chunichi.co.jp/article/321209?rct=economics>

■燦キャピタルマネージメント(株)(東京)、クリーンエネルギー事業を行う(株)SHICHUO(東京)と業務提携契約を締結。SHICHUO との間でバイオマス発電事業、地熱発電事業、小水力発電事業、太陽光発電事業の開発事業等を協働で行うこととしているが、まずはSHICHUO が新潟県十日町市において計画しているバイオマス発電所開発事業(認定容量:1.990kW)に取り組むとしている。事業における開発優先交渉権を燦キャピタルマネージメントへ付与することとし、燦キャピタルマネージメントがファイナンスアレンジ及び国産バイオマス燃料の活用に関心の高いパートナー企業(大手デベロッパー、新電力事業会社等)の選定、同社及びパートナー企業を含めた事業主体となるSPCの設立、バイオマス発電所の開発と運営を行う【燦キャピタルマネージメント(株):2021/08/31】
<https://sun-capitalmanagement.co.jp/2021/08/31/2021083101/>

■環境省、地方公共団体における2050年二酸化炭素排出実質ゼロ表明の状況について取りまとめ、公表。「地球温暖化対策の推進に関する法律では、都道府県及び市町村は、その区域の自然的社会的条件に応じて、温室効果ガスの排出の抑制等のため

の総合的かつ計画的な施策を策定し、及び実施するように努めるもの」とされており、昨今脱炭素社会に向けて、2050年二酸化炭素実質排出量ゼロに取り組むことを表明した地方公共団体が増えつつある。これまでに表明した地方公共団体は、8月31日時点で東京都・京都市・横浜市を始めとする444自治体(40都道府県、268市、10特別区、106町、20村)。表明自治体の総人口は約1億1,140万人に【環境省:2021/08/31】
<https://www.env.go.jp/policy/zerocarbon.html>

■(株)ユーグレナ(東京)、三重県多気町の未利用資源と微細藻類ユーグレナを用いた低魚粉の「多気ブランド飼料」とそれを給餌した「多気サステナブルサーモン」を開発。多気ブランド飼料は、多気町で生産したユーグレナや、副産物や規格外品としてこれまで未利用のまま廃棄されていた多気町産の伊勢芋、酒粕、松阪牛牛脂等、そして多気町に広く生息する外来生物のアメリカザリガニを配合。魚粉使用量を一般的な市販飼料よりも低く抑えたものになっている。三重県多気町、(株)中部ブランドサービス(愛知)、ユーグレナ社の3者は2019年3月に多気町での地域産業開発に関するコンソーシアム「もっとバイオ多気」を設立しており、木質バイオマス発電所の排熱などの未利用エネルギーや町内の未利用資源、微細藻類を活用し、新たな多気ブランドの開発を目指して陸上での魚介類養殖等の実証試験を共同で実施してきた。多気ブランド飼料や多気サステナブルサーモンは、その成果として開発されたもの。多気サステナブルサーモンは、三重県立相可高等学校が運営する高校生レストラン「まごの店」で提供される予定【JJJ.COM:2021/08/31】
<https://www.jiji.com/jc/article?k=000000242.000036462&g=prt>

■農水省、8月31日に来年度(2022〔令和4〕年度)予算概算要求を財務省に提出。林野庁関係の要求額は対前年度比14.1%増の3,461億8,500万円。「カーボンニュートラル実現に向けた森林・林業・木材産業によるグリーン成長」をテーマに掲げ、「『新しい林業』に向けた林業経営育成対策」や「カーボンニュートラル実現に向けた国民運動展開対策」といった新規事業も盛り込まれている。詳細は下記サイトを参照【日本林業調査会:2021/09/01、林野庁:2021/08/31】
<https://www.jfic.com/%E6%9E%97%E9%87%8E%E5%BA%81%E3%81%AE2022%>

[E5%B9%B4%E5%BA%A6%E4%BA%88%E7%AE%97%E8%A6%81%E6%B1%82%E3%81%AF%E7%B4%843462%E5%84%84%E5%86%86%E3%80%81%E3%82%B0%E3%83%AA%E3%83%BC%E3%83%B3%E6%88%90%E9%95%B7/](https://www.rinya.maff.go.jp/j/rinsei/yosankesan/R4gaisan.html)

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/rinsei/yosankesan/R4gaisan.html>

■秋田県八郎潟町、空き校舎となっている旧八郎潟小学校の敷地と校舎の農業利用を目指し、実現性の調査に着手へ。調査は環境省が主導する二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（上限1千万円）を活用し、民間に委託。バイオマスボイラ等での熱利用の実現可能性や、農産品の開発・販売といった事業性を検討して事業化へのハードルを探る。町は現時点で想定している生産品目やバイオマス資源の具体的な内容を明らかにしていないが、農業、特に園芸と絡めた活用策を検討しているもよう【秋田魁新報：2021/09/04】

<https://www.sakigake.jp/news/article/20210904AK0021/>

■東京大学（東京）とバイオガスプラントを手掛けるバイオマスリサーチ（株）（北海道）を中心とするコンソーシアム（共同事業体）が、バイオガス抽出後の「消化液」を活用する実証実験。ガスを取り出した後の牛の排せつ物「消化液」は主に有機肥料として再利用されるが、消化液の約95%を水分が占めているため畑にまくための労力がかかるうえ、雨の日は使えないなどのデメリットがあった。実証実験では東大を中心に消化液を自動で散布する車両を開発するほか、肥料としての成分が変わらないように低温で水分を飛ばして濃縮する方法を検証する。すでに8月から宮崎県の本部農場で実験を開始しており、2022年度からは北海道内でも始める予定。実験は農水省の「スマート農業技術の開発・実証プロジェクト」に選ばれており、実証課題名は「畜産バイオガスシステムの自動化実証プロジェクト」。期間は2年間。消化液濃縮技術の導入や消化液散布車両自動化により、消化液散布コスト20%減、バイオガスプラント事業経営コスト10%減を目指す【日本経済新聞：2021/09/07、農研機構】

<https://www.nikkei.com/article/DGXZQ0FC0768M0X00C21A9000000/>

<https://www.naro.go.jp/smart-nogyo/r3/subject/chiiki-nogyo/143670.html>

■（株）日比谷アメニス（東京）、北海道天塩郡幌延町において

太陽熱を利用して木質チップを乾燥させる設備を竣工。これまで地域で廃棄、埋め立て処分されていた使用済み紙おむつと剪定枝等の木質バイオマスをエネルギー利用するために混合燃料を製造する「西天北サーマルリサイクルファクトリー」において、施設内に集積された剪定枝由来の木質チップを乾燥させる設備として採用された。燃料化施設で製造された燃料は地域の老人ホームで燃焼して給湯熱源に利用される【value press：2021/09/07】

<https://www.value-press.com/pressrelease/279924>

■NEDO、「バイオマスエネルギー地域自立システムの導入要件・技術指針」第5版をリリース。これからバイオマス事業を検討する新規事業者が、検討の進め方やリスクを正しく理解し持続的な事業を実現するために必要な情報をとりまとめたガイドライン。重要なポイントのみをまとめた「基礎編」と詳細な解説やデータをまとめた「実践編」で構成されており、実践編はさらに「木質バイオマス編」と「メタン発酵系バイオマス編」に分けて詳解されている。今ならアンケートに答えるともれなく「事業性・地域経済性評価ツール（ベータ版）およびチェックリスト Excel 版」がもらえるサービスも。ガイドラインは下記サイトよりダウンロード可【OSR No.482：2021/09/08、NEDO：2021/07/15】

https://www.nedo.go.jp/library/biomass_shishin.html

■愛知海運（株）（愛知）、国内のバイオマス燃料輸送事業を強化へ。海外拠点から日本の発電所までバイオマス燃料を一貫輸送するAIL(Aikai Integrated Logistics)サービスに加え、内航船を使用した国内の運搬や緊急輸送にも力を入れる方針。また、荷揚げ港から発電所までの荷役、保管、輸送業務といった物流事業も拡大する【リム情報開発（株）：2021/09/09】

<https://www.rim-intelligence.co.jp/news/rre/1694576.html>

■イーレックス（株）（東京）、ベトナムでバイオマス発電事業開始へ。ベトナム南部ハウザン省で2022年に着工し、2024年に出力2万kW、想定年間発電量約1億2,000万kWhの発電所を稼働させる計画。燃料には地元で生じるコメのもみ殻を使用。温暖化ガスの削減量を2国間で分け合う制度の活用も想定している。同社が海外でバイオマス発電所を建設するのは初【日本経済新聞：2021/09/10】

<https://www.nikkei.com/article/DGXZQ0UC03EZA0T00C21A90>

■岡山県高梁市の旧温泉施設「ゆ・ら・ら」、産直やバイオマス発電所に改装へ。「朝霧温泉ゆ・ら・ら」は2013年1月に休止後、指定管理者が見つからず、高梁市が今年3月に売却先を公募。7月、岡山市の情報通信会社「(株)エヌディエス」が産地直売所やレストラン、バイオマス発電所に改装するとして、施設と土地を約1億1,000万円で買収。9月16日に調印式が行われ、同社が優先的に高梁市民を雇用することや、物資の調達で地元の企業を活用する協定を高梁市と締結。施設は2023年12月オープン予定【KSB NEWS：2021/09/16】

<https://news.ksb.co.jp/article/14441566>

■山形県新庄市にある新庄警察署、9月16日に新庁舎落成式を開催。県警施設初の木質バイオマスボイラや冷暖房を完備した道場などがあり、当日出席者が見学した。8月21日から新庁舎で業務を開始【山形新聞：2021/09/16】

<https://www.yamagata->

np.jp/news/202109/16/kj_2021091600349.php

■草木染めのオリジナルブランド「採色兼美(さいしよくけんび)」を展開している寺田デザイン事務所(北海道)がニューアイテム「御所染薄桜(ごしょぞめうすざくら)」の染色方法・媒染剤の製造方法に関する特許を取得。特許の名称は「木質バイ

オマスボイラの燃焼灰を利用した媒染剤の製造方法とその媒染剤を利用する染色方法」。同事務所ではかねてより木質バイオマスボイラの燃焼灰の調査研究をしてきており、その灰からクロムを抽出する媒染剤の製造方法とその媒染剤を使い白樺の皮から得られる染料でピンク色(=御所染薄桜)に染めることに日本で初めて成功した。布を植物染料で染めるには金属(鉄、アルミ、銅など)の水溶液と反応させることが必要で、灰から抽出したクロムも草木染めの色止めに使用するほか残った灰は堆肥に混ぜて土に還すことを提唱している。採色兼美の草木染(19種類)には独自の和名が付けられている。御所染薄桜以外で植物とバイオマスボイラの灰を使って染めている色には「女郎花(おみなえし)」と「浅葱百群(あさぎびやくぐん)」がある【J-FIC ニュース：2021/09/17、染色屋採色兼美】

<https://www.j->

<fic.com/%e6%9c%a8%e8%b3%aa%e3%83%90%e3%82%a4%e3%82%aa%e3%83%9e%e3%82%b9%e3%83%9c%e3%82%a4%e3%83%a9%e3%83%bc%e7%87%83%e7%84%bc%e7%81%b0%e3%82%92%e8%8d%89%e6%9c%a8%e6%9f%93%e3%82%81%e5%95%86%e5%93%81%e3%81%ab/>

<http://saisyokukenbi.ikidane.com/>

※OSR：バイオマス・再可エネ等の専門情報誌「オンサイト・レポート」の略

2. ペレット関連情報

■イーレックス(株)(東京)が香川県坂出市の坂出港に建設を計画しているバイオマス発電所が、環境影響評価手続きで大詰めの段階に。県による環境影響評価準備書の審査が終わり、同社は準備書を基に評価書を作成中で今秋にも完成させる予定。県と関係市に送付し1カ月の縦覧を経て、事業に着手する。バイオマス発電所の出力は7万4,950kW。年間発電量は約5億kWhで、一般家庭約15万世帯分の年間消費電力に相当。燃料は木質ペレットとPKS。2022年度の着工、2025年度の稼働開始を目指す【日刊建設工業新聞：2021/08/23、香川県】

<https://www.decn.co.jp/?p=122003>

<https://www.pref.kagawa.lg.jp/kankyoseisaku/hozen/assess/surboc181023085043.html>

■関西電力(株)(大阪)子会社のバイオパワー荻田合同会社(福岡)が福岡県京都郡荻田町に建設中の「かんだ発電所」、6月から発電所に設置した各機器の試運転を開始しており、7月30日にはボイラの火入れ式を実施。同発電所の発電出力は約75MW、売電電力量は約5.1億kWh/年(一般家庭約16万世帯の年間電気使用量に相当)。燃料には木質ペレットとPKSを使用。EPCは住友重機械工業(株)(東京)。荻田町ではかんだ発電所の他に、2021年6月に運開した荻田バイオマスエナジー(株)(福岡)の「荻田バイオマス発電所(75MW)」、(株)日本海水TTS荻田パワー(福岡)の「荻田バイオマス発電所(50MW、2023年10月運開予定)」と合計3件ものバイオマス専焼発電プロジェクトがひしめいている。かんだ発電所は関電のグループ企業が事業主体としてエリア外に建設する初のバイオマス発電所。

2022年2月1日運転開始予定【OSR No.480、電気新聞：2021/08/25、関西電力（株）】

<https://www.denkishimbun.com/archives/143154>

https://www.kepco.co.jp/energy_supply/energy/newenergy/biomass/kanda.html

■東北電力（株）（宮城）、シンガポールの企業「エクイス・デベロップメント・ピーティーイー・リミテッド（以下「エクイス」）」と共同で新潟県聖籠町の県営新潟東港工業地帯内においてバイオマス発電事業に取り組むと発表。エクイスが設立した「新潟東港バイオマス発電合同会社」（東京）に東北電力20%、エクイス社が80%出資する。同事業では、輸入木質ペレットやPKSを主な燃料とする出力規模50,000kWの専焼バイオマス発電設備を建設。年間発電量は一般家庭約11万7千世帯分に相当。発電した電力は東北電力ネットワーク（株）（宮城）に販売する。CO₂排出削減量は約19万t/年の見込み。発電所の設計、調達、建設、試運転までの一括請設計、機器資材調達、建設工事、試運転の一括請負は東洋エンジニアリング（株）（千葉）が受注。アンドリッツAG（オーストリア）とシーメンスエナジーAG（ドイツ）は、東洋エンジニアリングを通じて流動層ボイラと蒸気タービンを供給。東北電力はバイオマス発電設備の設計・建設時におけるオーナーズエンジニアリング業務や、営業運転開始後の運転・保守業務を担う。出資額や総事業費は非公表としているが、（株）第四北越銀行（新潟）や三井住友信託銀行（株）（東京）等が310億円の協調融資をしている。2024年10月営業運転開始予定。県営新潟東港工業地帯内では、他にもイーレックス（株）（東京）とENEOS（株）（同）が世界最大級（出力30万kW）のバイオマス発電所建設を計画しており、2026年度運転開始予定【新潟日報：2021/08/27、東北電力（株）、東洋エンジニアリング（株）、BIOMASS MAGAZINE：2021/08/26】

<https://www.niigata->

[nippo.co.jp/news/economics/20210827638144.html](https://www.nippo.co.jp/news/economics/20210827638144.html)

<https://www.tohoku->

[kepco.co.jp/news/normal/1221531_2558.html](https://www.kepco.co.jp/news/normal/1221531_2558.html)

<https://www.toyo-eng.com/jp/ja/company/news/?n=819>

<http://biomassmagazine.com/articles/18275/construction-on-50-mw-biomass-plant-in-japan-to-begin-in-may-2022>

■（株）レノバ（東京）、8月31日付けで佐賀県唐津市において開発を進める「唐津バイオマス発電所」について最終投資決

定を行ったと発表。同発電所事業主体の合同会社唐津バイオマスエナジー（東京）を通じて行った。出資比率はレノバが35.0%、東邦ガス（株）（愛知）が34.0%、JA三井リース（株）（東京）が16.0%、（株）イノセント（宮崎）が15.0%。レノバはJA三井リースと「合同会社唐津バイオマスエナジーに係る持分譲渡に関する覚書」を締結しており、唐津バイオマス発電所の完成日以降に同社が保有する特別目的会社出資持分を買増す権利も有するとしている。唐津バイオマスエナジーは同じく8月31日に金融機関との間で融資関連契約を締結し、プロジェクトファイナンスを組成。（株）三井住友銀行（東京）をアレンジャー、（株）福岡銀行（福岡）をコ・アレンジャーとし、多数の銀行等が参画している。発電所はペレットとPKSを燃料とし、設備容量は49.9MW（発電端出力ベース）、想定年間発電量は約35万MWh（一般家庭約11万世帯の年間使用電力量に相当）。発電した電力は九州電力（株）（福岡）子会社の九州電力送配電（株）（福岡）に売電する計画。発電所は当初2019年中の稼働を目指していたが、出力の増強、ボイラの冷却方法を水冷から空冷に変更すること等で工期が遅れ、2023年10月稼働にずれ込むとされていた。今回のレノバ等出資企業らの発表によると、今年8月に着工し、2024年12月に運転開始の予定となっている【（株）レノバ：2021/08/31、NET IB NEWS：2021/08/26、西日本新聞：2019/06/13、2021/09/01】

https://www.renovainc.com/news/business/pdf/20210831_01_PRESS.pdf

<https://www.data-max.co.jp/article/43421>

<https://www.nishinippon.co.jp/item/n/518059/>

<https://www.nishinippon.co.jp/item/n/793914/>

■関西電力（株）（大阪）、合同会社唐津バイオマスエナジーから、佐賀県唐津市で開発する大型バイオマス発電事業における、オーナーズエンジニアリング業務（以下「OE業務」）を受託。自社の発電所運営にて培ったノウハウをもとに提供する「K-VaCS®（Kansai-Value Creation Serviceの略）」のサービスの一つとして実施するものであり、唐津バイオマスの発電プラント設備の設計から工事、試運転、運転開始までの間、安全や品質、工程、コスト管理等について、敷地造成および土木建築設備を含め、技術的なサポートを行う【関西電力（株）：2021/08/31】

https://www.kepco.co.jp/corporate/pr/2021/pdf/20210831_2_j.pdf

■日本トランスシティ（株）（三重）、近隣の発電所で使う木質ペレットと PKS を保管する「霞バイオマスセンター」（三重県四日市港）の電力について、中部電力ミライズ（株）（愛知）が提供する「三重美し国 Green でんき」の需給契約を締結。「三重美し国 Green でんき」は、三重県内に立地する櫛田川や宮川等の水系にある水力発電所で発電された電気に、同発電所に由来する環境価値を活用することで、CO₂ 排出量ゼロにした三重県産の電気を同県内の事業者を中心に供給するもの。霞バイオマスセンターでは 71t/年の CO₂ 排出量削減を見込む。また「三重美し国 Green でんき」の契約において、電気料金の一部を三重県内の再エネ電源の維持・拡大に活用する方針。9月8日より CO₂ フリー電気の利用開始【日本海事新聞：2021/09/02、日本トランスシティ（株）：2021/09/01】

<https://www.jmd.co.jp/article.php?no=270595>

<https://www.trancy.co.jp/home/pdf/%E4%B8%89%E9%87%8D%E7%9C%8C%E7%94%A3CO2%E3%83%95%E3%83%AA%E3%83%BC%E9%9B%BB%E6%B0%97%E3%81%A7%E3%80%81%E9%9C%9E%E3%83%90%E3%82%A4%E3%82%AA%E3%83%9E%E3%82%B9%E3%82%BB%E3%83%B3%E3%82%BF%E3%83%BC%E3%82%92%E8%84%B1%E7%82%AD%E7%B4%A0%E5%8C%96%E3%81%B8.pdf>

■石油資源開発（株）（東京、以下「JAPEX」）等 5 社が、長府バイオパワー合同会社（山口、以下「CBP」）に対する出資を決定。出資比率は JAPEX が 39.9%、（株）東京エネシス（東京）が 20.0%、（株）MOT 総合研究所（山口）が 15.1%、（株）長府製作所（山口）が 15.0%、川崎近海汽船（株）（東京）が 10.0%。CBP は山口県下関市の長府扇町工業団地に位置する長府製作所社有地に建設を計画している「長府バイオマス発電所」の事業会社で、5 社による出資決定と本年 9 月末をめどとするプロジェクトファイナンス契約の締結完了見通しを踏まえ、同日発電所の建設を決定。発電所は燃料に木質ペレット 100%を使用し、出力規模は 74.950kW、発電した電力は FIT を通じて中国電力（株）（広島）に売電する。出資各社は CBP から、本発電所の建設監理や営業運転開始後の運用・保守、燃料の調達・輸送などの業務を受託するほか、出資各社は CBP に対し、行政や周辺地域との関係構築・維持などについての協力や支援を行う。また JAPEX は 100%出資子会社の「（株）ジャペックスグリーンエナジー」（東京）を通じ、CBP のアセットマネジメント業務を受託する。総事業費は約 400 億円、発電所の着工は 2022 年 6 月、営業運転開始は 2025 年 1 月の予定【JAPEX:2021/09/08、

山口新聞：2021/09/18】

https://www.japex.co.jp/news/detail/20210908_01/

<https://yama.minato-yamaguchi.co.jp/e-yama/articles/32166>

■東北電力（株）（宮城）、秋田県にある秋田火力発電所（出力 60 万 kW、燃料は重油・原油）の構内で、バイオマス燃料の原料となる植物の栽培試験を開始。秋田火力の遊休地に約 1,600 m²の畑を作り、7月20日、いずれもイネ科のソルガム、エリアンサス、ジャイアントミスカンサスを植えた。3 種とも栽培の手間が少なく成長が早いなどの特徴があり、粉碎して粒状のペレットに固めるとバイオマス燃料になる。栽培試験では、肥料を与えるかどうか、除草をするかどうかなどの条件を細かく変え、収穫量のほか、刈り取った際の水分量、ペレットへの加工のしやすさ、燃やした時の発熱量などを比較する。2023 年度までの 3 年間、連作の影響なども調べる。栽培試験の結果を踏まえ、東北電は 2024 年度以降、バイオマス燃料の自社製造の検討に入る方針。石炭火力発電の脱炭素化が迫られる中、混焼用バイオマス燃料自給の可能性を探る【河北新報:2021/09/10】

<https://kahoku.news/articles/20210910khn000020.html>

■テスホールディングス（株）（大阪）、再生可能エネルギー発電事業の基盤強化の一環として、（株）伊万里グリーンパワー（佐賀）の株式を取得し、子会社化。9月13日開催の取締役会において決議し、翌 14 日には契約締結および株式譲渡を実行。取得価額は 18 億 1,100 万円。佐賀県伊万里市の県営七ツ島工業団地にバイオマス発電所を建設する計画は、日本新電力（株）（東京）が 2014 年に出力 20 万 kW の発電プラント建設を発表するも、2016 年春に親会社が破産したため計画が頓挫。しかし同年 9 月に（株）アグリ（佐賀）と韓国大手プラント建設企業（株）ウェルクロンハンテック（韓国）が事業計画を引き継ぐため県と市の了解を得て、伊万里グリーンパワーを設立。2017 年 3 月 9 日には FIT 制度に基づく事業計画認定を取得した。発電所名は「佐賀伊万里バイオマス発電所（仮称）」。木質ペレットと PKS を燃料とし、出力規模は約 46MW、想定年間売電電力量は約 312,000,000kWh。2025 年 5 月運開予定。事業の開発にあたっては共同スポンサーの参画を予定しており、共同で事業の開発を推進し、プラント建設の一部、オペレーション & メンテナンス、アセットマネジメント及び燃料調達支援等の業務を担っていく方針【M&A Online、テス・ホールディングス（株）：2021/09/13、毎日新聞：2016/10/18、（株）アグリ：

2016/12/17】

<https://maonline.jp/news/20210913b>

<https://ssl4.eir-parts.net/doc/5074/tdnet/2024136/00.pdf>

<https://mainichi.jp/articles/20161018/ddl/k41/020/330000c>

<http://www.agri-co.jp/img/old->

<news/28.12.17.%E4%BD%90%E8%B3%80%E6%96%B0%E8%81%9E%E3%80%90%E4%BC%8A%E4%B8%87%E9%87%8C%E3%83%90%E3%82%A4%E3%82%AA%E3%83%9E%E3%82%B9%E7%99%BA%E9%9B%BB%E4%BA%8B%E6%A5%AD%E9%96%8B%E5%A7%8B%E3%80%91.pdf>

■農水省、8月31日に「令和2年木質バイオマスエネルギー利用動向調査結果（第1報）」を公表。同調査は、木質バイオマスのエネルギー利用の動向を把握し、木質バイオマスエネルギーを利用した発電施設等における木材利用の推進等に資するとともに、木材需給表や森林・林業基本計画の作成等の基礎資料として活用することを目的に毎年行われている。調査対象は全国の木質バイオマスエネルギーを利用した発電機及びボイラを有する事業所(令和2年時点、1,540社)で、回収率は93.1%。

調査期間は、2020年1月1日～12月31日までの1年間。調査結果の概要によると、「令和2年にエネルギーとして利用された木質バイオマスのうち、木材チップの量は1,038万9,886tとなり、前年に比べ10.3%増加」。そのうち「間伐材・林地残材等」由来の木材チップは391万289t(前年比29.1%増)、「製材等残材」由来の木材チップは167万4,169t(前年比2.2%減)、「建設資材廃棄物」由来の木材チップは417万687t(前年比2.6%増)だった。「エネルギーとして利用された木材チップ及び木質ペレットのうち間伐材・林地残材等に由来するものの丸太換算量の推移」については、木材チップは860万3,000m³(前年比29.1%増)、ペレットは21万6,000m³(前年比33.3%増)となった【JA.COM@:2021/09/14、農水省:2021/08/31】
<https://www.jacom.or.jp/nousei/news/2021/09/210914-53879.php>
https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/mokusitu_biomass/#y

※OSR：バイオマス・再可エネ等の専門情報誌「オンサイト・レポート」の略

3. イベント情報（国内）

※本メールニュースに掲載のイベントは情報として紹介しているもので、参加を推奨するものではありません。

※新型コロナウイルスの影響により、イベント、展示会で急遽中止や延期を決定される場合があります。開催の有無については各ウェブサイト等で最新情報を確認するようにしてください。

◎：木質ペレット燃料、ストーブ、ボイラの関連イベント

■ウータン・森と生活を考える会 ジャングルふれんず熱帯林セミナー「バイオマス発電が引き起こす森林破壊のリスク」

2021年10月2日（土）

オンライン及びルマ・ボルネオ大阪（大阪府大阪市）

<https://hutangroup.org/archives/3717>

■（一財）林業経済研究所 シンポジウム「森林へのまなざし—異分野共創・未来への投資—」

2021年10月2日（土）

オンライン

http://www.foeri.org/pdf/2021sympo_flyer.pdf

■NPO 法人バイオマス産業社会ネットワーク「第199回研究会「教育現場におけるバイオマス導入事例～自由の森学園の森林教育と薪ボイラー導入～」

2021年10月6日（水）

オンライン開催

<https://www.npobin.net/activity/seminar.html>

■（公財）オイスカ60周年記念国際シンポジウム「世界課題の解決に風穴をあける BE the SOLUTION」

2021年10月6日（水）

国立オリンピック記念青少年総合センター（東京都渋谷区）：

定員300名/オンライン：150名

<http://www.oisca.org/news/?p=14847>

■ビューローベリタスジャパン（株）「脱炭素経営 ネットゼロ社会実現のための企業戦略～2050年に向けての提言～」

2021年10月7日(木)

御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンター(東京都千代田区) / オンライン(ライブ配信)

<https://www.bureauveritas.jp/newsroom/cer/210818>

■講演会・シンポジウム実行委員会「『脱炭素社会の実現に資する等のための建築物等における木材の利用の促進に関する法律』施行記念講演会・シンポジウム」

2021年10月8日(金)

有楽町朝日ホール(東京都千代田区) / オンライン

<http://www.jcatu.jp/symposium2021/>

■(株)森のエネルギー研究所「創立20周年記念オンラインセミナー～脱炭素社会の実現に『森のエネルギー』ができること～」

①株式会社森のエネルギー研究所創立20周年記念シンポジウム

2021年10月8日(金)

オンライン会議システム Zoom 利用

<http://www.mori-energy.jp/2021/09/08/new-online-event/>

■第44回全国育樹祭北海道実行委員会「第44回全国育樹祭」

2021年10月9日(土)～10日10日(日)

北海道苫小牧市

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/sr/zij/index.htm>

■(一社)林業機械化協会「2021 森林・林業・環境機械展示実演会」

2021年10月10日(日)～11日(月)

北海道苫小牧市

<https://www.rinkikyo.or.jp/>

■(特非)日本環境倶楽部「ゼロカーボン達成研究セミナー第2回『カーボンプライシング(CP)の国内外動向』」

2021年10月14日(木)

ZOOMによるリモート形式の開催

<https://www.kankyoclub.or.jp/event/2110-1.html>

■上智大学国際人材育成センター国際シンポジウム「持続可能な社会を構築するための社会変革と森林」

2021年10月15日(金)

オンライン・ズーム/ウェビナー

<https://innofesweb.wixsite.com/innofes/general-4?lang=ja>

■(株)森のエネルギー研究所「創立20周年記念オンラインセミナー～脱炭素社会の実現に『森のエネルギー』ができること～」

②セミナー第1回: 変わる社会と変わらない森林

2021年10月15日(金)

オンライン会議システム Zoom 利用

<http://www.mori-energy.jp/2021/09/08/new-online-event/>

■(国研)森林研究・整備機構森林総合研究所 令和3年度「材料・空間の感性・快適性評価に関する産学連携セミナー」

【第1回】2021年10月15日(金)

インターネットによるリモート参加とYouTube「森林総研チャンネル」ライブ配信

<http://www.ffpri.affrc.go.jp/event/2021/20211015seminar/index.html>

■(国研)森林研究・整備機構森林総合研究所「2021年度森林総合研究所公開講演会「伝えたい! 森の中の放射性セシウム -10年で明らかになったこと-」

2021年10月16日(土)

森林総合研究所「YouTubeチャンネル」

<http://www.ffpri.affrc.go.jp/event/2021/20211016ffprilec/index.html>

■NPO法人九州バイオマスフォーラム「暖談の会2021」(一回目)

2021年10月16日(土)

グリーンピア南阿蘇(熊本県阿蘇郡南阿蘇村)

<https://kbiomass.org/2021/08/27/%e6%9a%96%e8%ab%87%e3%81%ae%e4%bc%9a%e3%82%92%e9%96%8b%e5%82%ac%e3%81%97%e3%81%be%e3%81%99-2/>

◎（有）ウェック「第6回ペレットストーブ大集合 2021 秋
屋外ペレットストーブ大相談会」

2021年10月16日（土）～17日（日）

ウェック日高本店（埼玉県日高市）

<https://pelletstove.wekk.jp/info/4145552>

■NPO 法人農都会議 10月勉強会「地域のSDGsはどこまで
進んだか？ 事例と課題～“SDGs 未来都市”市原市の里山と
都会が両立する暮らし、人と自然を“つなぐ”銀座ミツバチ
プロジェクト～」

2021年10月21日（木）

オンライン開催（Zoom利用）

<https://blog.canpan.info/bioenergy/archive/353>

■（株）森のエネルギー研究所「創立20周年記念オンライン
セミナー～脱炭素社会の実現に『森のエネルギー』ができる
こと～」

③セミナー第2回：企業・個人に求められる「脱炭素」への
投資

2021年10月22日（金）

オンライン会議システム Zoom 利用

<http://www.mori-energy.jp/2021/09/08/new-online-event/>

■NPO 法人九州バイオマスフォーラム「暖談の会 2021」（二
回目）

2021年10月23日（土）

グリーンピア南阿蘇（熊本県阿蘇郡南阿蘇村）

<https://kbiomass.org/2021/08/27/%e6%9a%96%e8%ab%87%e3%81%ae%e4%bc%9a%e3%82%92%e9%96%8b%e5%82%ac%e3%81%97%e3%81%be%e3%81%99-2/>

■（株）森のエネルギー研究所「創立20周年記念オンライン
セミナー～脱炭素社会の実現に『森のエネルギー』ができる
こと～」

④セミナー第3回：20年後も必要とされる木質バイオマスエ
ネルギーとは

2021年10月29日（金）

オンライン会議システム Zoom 利用

<http://www.mori-energy.jp/2021/09/08/new-online-event/>

■（一財）新エネルギー財団「令和3年度新エネルギー人材
育成研修会『新エネ基礎コース』」

2021年10月29日（金）

Zoom ウェビナー

<https://www.nef.or.jp/topics/2021/20210915.html>

■（国研）森林研究・整備機構森林総合研究所「樹木根系と
防災に関するオンライン研究会 2017年九州北部豪雨を契機
として」

2021年10月29日（金）

Microsoft Teams によるオンライン形式

<http://www.ffpri.affrc.go.jp/event/2021/20211029webinar/index.html>

■NPO 法人九州バイオマスフォーラム「暖談の会 2021」（三
回目）

2021年10月30日（土）

グリーンピア南阿蘇（熊本県阿蘇郡南阿蘇村）

<https://kbiomass.org/2021/08/27/%e6%9a%96%e8%ab%87%e3%81%ae%e4%bc%9a%e3%82%92%e9%96%8b%e5%82%ac%e3%81%97%e3%81%be%e3%81%99-2/>

■高知県「もくもくエコランド 2021 第4回森林環境学習フ
ェア」

2021年10月30日（土）～31日（日）

高知市中央公園（高知県高知市）

<https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/030101/mokumokueco.html>

■16th メッセナゴヤ 2021（オンライン開催）

2021年11月1日（月）～19日（金）

オンライン（メッセナゴヤ WEB サイト内）

<http://www.messenagoya.jp/>

■16th メッセナゴヤ 2021（リアル開催）

2021年11月10日（水）～13日（土）

ポートメッセなごや（愛知県名古屋）

<http://www.messenagoya.jp/>

■（国研）森林研究・整備機構森林総合研究所 令和3年度
「材料・空間の感性・快適性評価に関する産学連携セミナー

ー」

【第2回】2021年11月12日（金）

インターネットによるリモート参加とYouTube「森林総研チャンネル」ライブ配信

<http://www.ffpri.affrc.go.jp/event/2021/20211015seminar/index.html>

■林野庁「福島の森林・林業再生に向けたシンポジウム～福島の森と木の親子体験オンライン教室2021～」

2021年11月13日（土）

オンライン

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/press/kaihatu/210910.html>

■上智大学 国際シンポジウム「ヨーロッパ・日本を結ぶオンライン・ソフィアシンポジウム 文化的森林生態系サービスの重要性を国際的な視点で探る～新しい森林関連のビジネスチャンスに向けて？」

2021年11月15日（月）

オンライン

<https://innofesweb.wixsite.com/innofes/about-9?lang=ja>

■川崎国際環境技術展実行委員会「第14回川崎国際環境技術展」

2021年11月16日（火）～26日（金）

オンライン開催

<https://www.kawasaki-eco-tech.jp/>

◎RX Japan（株）「スマートエネルギーWeek 内バイオマス展」【関西展】

2021年11月17日（水）～11月19日（金）

インテックス大阪（大阪府大阪市）

<https://www.bm-expo.jp/ja-jp.html>

■（株）新社会システム総合研究所「カーボンプライシングの内外状況と国内展望～制度設計の方向性～」

2021年11月18日（木）

SSK セミナールーム（東京都港区）/ライブ配信/アーカイブ配信

<https://www.ssk21.co.jp/S0000103.php?gpage=21437>

■応用森林学会「第72回応用森林学会大会」

2021年11月20日（土）～22日（月）

オンライン開催

<http://applforsci.jp/>

◎（一社）日本能率協会「バイオマスエキスポ2021」

2021年11月24日（水）～26日（金）

東京ビッグサイト青海展示棟（東京都江東区）

<https://www.biomassexpo.info/>

■（一社）日本能率協会「バイオマスエキスポフォーラム21」

2021年11月26日（金）

東京ビッグサイト青海展示棟内セミナー会場（東京都江東区）

<https://www.biomassexpo.info/>

■林業経済学会「林業経済学会2021年秋季大会」

2021年12月1日（水）～10日（金）

※口頭発表は12月4日（土）～5日（日）

オンライン開催

http://www.jfes.org/kenkyukai/JFES_2021_Fall/2021_fall.html

■第23回エコプロ2021

2021年12月8日（水）～10日（金）

東京ビッグサイト東ホール（東京都江東区）

<https://eco-pro.com/eco2021/>

■（一社）日本エネルギー学会バイオマス部会「第17回バイオマス科学会議」

2022年1月19日（水）～20日（木）

オンライン開催

<https://www.jie.or.jp/publics/index/810/>

■日本エネルギー学会バイオマス部会「第9回アジアバイオマス科学会議」

2022年1月21日（金）

オンライン会議（Zoom）

<https://www.jie.or.jp/publics/index/805/>

■再生可能エネルギー協議会「第16回再生可能エネルギー世界展示会&フォーラム」

2022年1月26日(水)～28日(金)

東京ビッグサイト東4・5ホール&会議棟(東京都江東区)

<https://www.low-cf.jp/east/index.html>

■(一財)省エネルギーセンター「ENEX2022 第46回地球環境とエネルギーの調和展」

2022年1月26日(水)～28日(金)

東京ビッグサイト東4・5ホール&会議棟(東京都江東区)

<https://www.low-cf.jp/east/index.html>

■JTB コミュニケーションデザイン「DER Microgrid Japan 2022」

2022年1月26日(水)～28日(金)

東京ビッグサイト東4・5ホール&会議棟(東京都江東区)

<https://www.low-cf.jp/east/index.html>

◎RX Japan(株)「スマートエネルギーWeek 内バイオマス展」【春展】

2022年3月16日(水)～18日(金)

東京ビッグサイト(東京都江東区)

<https://www.bm-expo.jp/ja-jp.html>

■(一社)日本森林学会「第133回日本森林学会大会」

2022年3月27日(日)～29日(火)

オンライン開催(公開シンポジウムは山形市で開催)

<https://www.forestry.jp/>

■日報ビジネス(株)「第31回2022NEW環境展」,「第14回2022地球温暖化防止展」

2022年5月25日(水)～27日(金)

東京ビッグサイト(東京都江東区)

<https://www.n-expo.jp/>

4. イベント情報(海外)

■Future of Energy Now

2021年10月4日(月)～8日(金)

オンライン

<https://www.all-energy.co.uk/en-gb.html>

■Biogas PowerON & Future of Biofuels 2021

2021年10月5日(火)～6日(水)

コペンハーゲン(デンマーク)

<https://fortesmedia.com/biogas-poweron-2021,4,en,2,1,14.html>

■Energy Transition Strategies Summit

2021年10月5日(火)～6日(水)

オンライン

<https://bioenergyeurope.org/events/11-events/245-energy-transition-strategies-summit.html>

■EFIB 2021

2021年10月6日(水)～7日(木)

ウィーン(オーストリア)

<https://efibforum.com/>

■Scaling up biomethane on the pathway to a net-zero future

2021年10月13日(水)

ウェビナー

<https://www.worldbioenergy.org/news/619/47/WBA-Webinar-Scaling-up-biomethane-on-the-pathway-to-a-net-zero-future/>

■Implementation of REDII sustainability criteria

2021年10月21日(木)

ウェビナー

<https://bioenergyeurope.org/events/11-events/251-implementation-of-redii-sustainability-criteria.html>

■European Biogas Conference 2021

2021年10月26日(火)～27日(水)

ブリュッセル(ベルギー)

<https://www.europeanbiogas.eu/european-biogas-conference-2021/>

■Ecomondo

2021年10月26日(火)～29日(金)

リミニ(イタリア)

https://unb.ecomondo.com/international-en/?utm_source=referral&utm_medium=banner&utm_campaign=Woodcote

■POWERGEN INDIA

2021年10月27日(水)～29日(金)

ニューデリー(インド)

<https://www.powergen-india.com/>

■17th Carbon Dioxide Utilisation Summit

2021年10月27日(水)～28日(木)

ブリュッセル(ベルギー)

<https://www.wplgroup.com/aci/event/co2/>

■COP26

2021年11月1日(月)～12日(金)

グラスゴー(UK)

<https://ukcop26.org/>

■2021 Value of Biogas West Conference

2021年11月9日(火)～10日(水)

ブリティッシュコロンビア州バンクーバー(カナダ)

<https://biogasassociation.ca/vob2022/page/vobwest2021>

◎European Biomass to Power Conference 2021

2021年11月17日(木)～18日(金)

マンチェスター(UK)

<https://www.wplgroup.com/aci/event/european-biomass-to-power/>

■31st BIOGAS Convention & Trade Fair

2021年11月22日(月)～26日(金)

デジタル会議

<https://www.biogas-convention.com/en/>

■Future of Biogas Europe Summit 2021

2021年11月24日(水)～25日(木)

ベルリン(ドイツ)

<https://www.wplgroup.com/aci/event/future-biogas-europe/>

■IEA Bioenergy Triannual Online Conference 2021 “Bioenergy - A critical part of the path to carbon neutrality”

2021年11月29日(月)～12月9日(木)

オンライン

<https://www.ieabioenergyconference2021.org/>

■WOODEX

2021年11月30日(火)～12月3日(金)

モスクワ(ロシア)

<https://woodexpo.ru/Home>

■BIOGAS Convention & Trade Fair

2021年12月7日(火)～9日(木)

ニュルンベルク(ドイツ)

<https://www.biogas-convention.com/en/>

◎Fuels of the Future 2022

2022年1月24日(月)～25日(火)

ベルリン(ドイツ)

<https://www.fuels-of-the-future.com/en/programme/programme-overview>

■bio360

2022年1月26日(水)～27日(木)

ナンテ(フランス)

<https://www.bio-360.com/en/>

■World Sustainable Energy Days

2022年3月2日(水)～4日(金)

ヴェルス(オーストリア)

<https://www.wsed.at/european-pellet-conference>

◎European Pellet Conference 2022

2022年3月2日(水)～3日(木)

ヴェルス(オーストリア)

<https://www.wsed.at/european-pellet-conference>

■15h Annual International Biomass Conference & Expo

2022年3月14日(月)～16日(水)

フロリダ州ジャクソンビル(USA)

<http://www.biomassconference.com/ema/DisplayPage.aspx?pageld=Home>

◎The International Biomass Congress & Expo

2022年3月15日(火)～16日(水)

ブリュッセル(ベルギー)

https://www.bioenergy-news.com/conference/biomass/biomass_index_2022.php

■The International Biogas Congress & Expo

2022年3月15日(火)～16日(水)

ブリュッセル(ベルギー)

https://www.bioenergy-news.com/conference/biogas/biogas_index_2022.php

◎The 13th Biofuels International Conference & Expo

2022年3月15日(火)～16日(水)

ブリュッセル(ベルギー)

https://www.biofuels-news.com/conference/biofuels/biofuels_index_2022.php

■Bio360 Week

2022年3月22日(火)～26日(土)

バーチャルイベント

<https://public.message-business.com/emailing/25115/1807/r16azivyvmpvfjhjzagfbiig>

[jjyzsehhe/emailing.aspx?utm_campaign=Bio360+6&utm_medium=Emailing&utm_source=Sendethic](http://www.jjyzsehhe.com/emailing.aspx?utm_campaign=Bio360+6&utm_medium=Emailing&utm_source=Sendethic)

■2022 Value of Biogas East Conference

2022年4月12日(火)～13日(水)

オンタリオ州トロント(カナダ)

<https://biogasassociation.ca/vob2022/page/vobeast2022>

■Carrefour International du Bois

2022年6月1日(水)～3日(金)

ナンテ(フランス)

<https://www.timbershow.com/en/>

■Elmia Wood 2022

2022年6月2日(木)～4日(土)

ヴァガリード(スウェーデン)

<https://www.elmia.se/en/wood/>

■2022 International Fuel Ethanol Workshop & Expo

2022年6月13日～15日

ミネソタ州ミネアポリス(USA)

<http://www.fuelethanolworkshop.com/ema/DisplayPage.aspx?pageld=Home>

■16th International Conference BIOMASS for ENERGY

2022年9月

キエフ(ウクライナ)

<https://uabioconf.org/en/>

5. 2021年度ペレットストーブ、ボイラ補助金情報(都道府県順)

※締切や公募の条件等の詳細は各自自治体にお問い合わせください。

◇: ストーブ

◆: ストーブ・ボイラ共

【山形県】

◇東根市「東根市ペレットストーブ等設置支援事業費補助金」

<https://www.city.higashine.yamagata.jp/17187.html>

6. 公募等情報（締切順）

■（一社）環境技術普及促進協会「令和3年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(PPA 活用など再エネ価格低減等を通じた地域の再エネ主力化・レジリエンス強化促進事業)(5)再エネの価格低減に向けた新手法による再エネ導入事業に係る公募」(3次公募)

公募期間 2021年9月9日(木)～10月8日(金)

http://www.eta.or.jp/offering/21_07_keikaku/210618.php

■脱炭素チャレンジカップ事務局「団体エントリー募集」

応募締切 2021年10月10日(日)

<https://www.zenkoku-net.org/datsutanso/entry.php#oubo>

■（独）環境再生保全機構「環境研究総合推進費」

公募期間 2021年9月21日(火)～10月26日(火)

https://www.erca.go.jp/suishinhi/koubo/r04_koubo_1.html

■（一社）全国林業改良普及協会「新たな森林（もり）づくりコンクール2021」

募集期間 2021年7月26日(月)～10月29日(金)

http://www.ringyou.or.jp/hukyu/detail_1501.html

■（一社）環境共創イニシアチブ「令和3年度地域共生型再生可能エネルギー等普及促進事業費補助金公募情報（地域マイクログリッド構築事業）」(4次公募)

公募期間 2021年10月29日(金)

<https://sii.or.jp/microgrid03/note1.html>

■（一社）環境共創イニシアチブ「令和3年度地域共生型再生可能エネルギー等普及促進事業費補助金公募情報（導入プラン作成事業）」(4次公募)

公募期間 2021年10月29日(金)

<https://sii.or.jp/microgrid03/note2.html>

■（一財）セブーンイレブン記念財団「2022年度環境市民活動助成」

応募受付期間 2021年9月20日(月)～10月31日(日)

<https://www.7midori.org/josei/>

■（公財）SOMPO環境財団「環境保全プロジェクト助成」

応募締切 2021年10月31日(日)

<https://www.sompo-ef.org/project/project.html>

■（公財）廃棄物・3R研究財団「令和3年度『二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（我が国循環産業の戦略的国際展開による海外でのCO2削減支援事業）』」

公募期間 2021年5月11日(火)～11月30日(火)

https://www.jwrf.or.jp/individual/prj_000369.html

■脱炭素チャレンジカップ事務局「アイデア賞募集」

応募締切 2021年11月30日(火)

<https://www.zenkoku-net.org/datsutanso/entry.php#oubo>

■埼玉県「【令和3年度】埼玉県分散型エネルギー利活用設備整備費補助金」

公募期間 2021年5月17日(月)～12月17日(金)

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0503/bunnsanngata-hozyo.html>

■（公財）ひょうご環境創造協会「令和3年度中小事業者省エネ設備等導入支援事業補助金」

募集期間 2021年5月10日(月)～12月24日(金)

<http://www.eco-hyogo.jp/global-warming/tyuushou2021/>

■静岡県浜松市「浜松市木質バイオマス設備導入支援事業費補助金」

受付期間 2021年4月15日(木)～2022年1月31日(月)

[https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/shin-](https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/shin-ene/new_ene/mokushitsuhojokin.html)

[ene/new_ene/mokushitsuhojokin.html](https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/shin-ene/new_ene/mokushitsuhojokin.html)

■東京都地球温暖化防止活動推進センター「地産地消型再生エネルギー増強プロジェクト」

受付期間 2021年4月1日(木)～2022年3月31日(木)

<https://www.tokyo-co2down.jp/subsidy/chisan-zokyo>

■東京都「地方卸売市場省エネルギー等対応施設整備補助金」

受付期間 2017年4月1日(土)～2022年3月31日(木)

<https://www.shijou.metro.tokyo.lg.jp/jouhoukoukai->

<portal/pdf/jiritsu/hojo/g3-3.pdf>

■農水省「農林漁業者とバイオ燃料製造業者の連携によるバイオ燃料製造支援」

適用期限 ～ 2022年3月31日（木）

<https://www.maff.go.jp/j/shokusan/bio/nenryoho/>

■東京都「東京都区市町村との連携による地域環境力活性化事業」

事業期間 2014年度～2023年度

http://www.kankyo.metro.tokyo.jp/policy_others/municipal_support/current.html

■静岡県富士市「令和3年度中小企業者温暖化対策事業費補助金」

<https://www.city.fuji.shizuoka.jp/kurashi/c0903/rn2ola00000cn7d.html>

■高知県「高知県木質資源利用促進事業費補助金」

<https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/030501/2019022200068.html>

■高知県「再生可能エネルギー利活用事業費補助金」

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/610301/2015060100117.html>

■高知県香南市「香南市燃料タンク対策事業費補助金」

http://www.city.kochi-konan.lg.jp/reiki_int/reiki_honbun/r254RG00001291.html

■高知県仁淀川町「仁淀川町再生可能エネルギー利活用事業費補助金」

http://www.town.niyodogawa.lg.jp/reiki/reiki_honbun/r191RG0000129.html#e000000030

■北海道「林業・木材産業改善資金」

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/sr/rrm/kaizennshikinn.pdf>

■栃木県「栃木県環境保全資金（省エネ設備等の導入）」

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/d02/eco/kankyou/ondanka/syoue>

<ne-setubi-yuusi.html>

※融資制度

■徳島県「自然エネルギー立県とくしま推進資金貸付制度」

<https://www.pref.tokushima.lg.jp/jigyoshanokata/kurashi/shizen/5007685/>

※融資制度

■奈良県「新エネルギー等対策資金」

<http://www.pref.nara.jp/23346.htm>

※融資制度

■（公財）日本環境協会「令和2年度環境配慮型融資促進利子補給事業」

https://www.jeas.or.jp/activ/prom_24_00.html

※融資制度

■横浜市「よこはまプラス資金（環境・エネルギー対策）」

<https://www.city.yokohama.lg.jp/business/bunyabetsu/kankyo-koen-gesui/plus/hozenshikin.html>

※融資制度

■千葉県「環境保全資金（制度全般事業認定）」

<https://www.pref.chiba.lg.jp/shigen/chikyukankyou/ne/shien-jigyousha.html>

■千葉縣市原市「市原市企業立地促進条例」

<http://www.city.ichihara.chiba.jp/kanko/0205sangyou/kigyourittigaido.html>

■千葉県南房総市「南房総市施設園芸用木質バイオマス暖房機設置費等補助金」

<https://www.city.minamiboso.chiba.jp/0000007149.html>

■（独）農林漁業信用基金「災害で被災された方の支援について（新型コロナウイルス感染症による影響を含む）」

<https://www.jaffic.go.jp/guide/rin/shien/index.html>